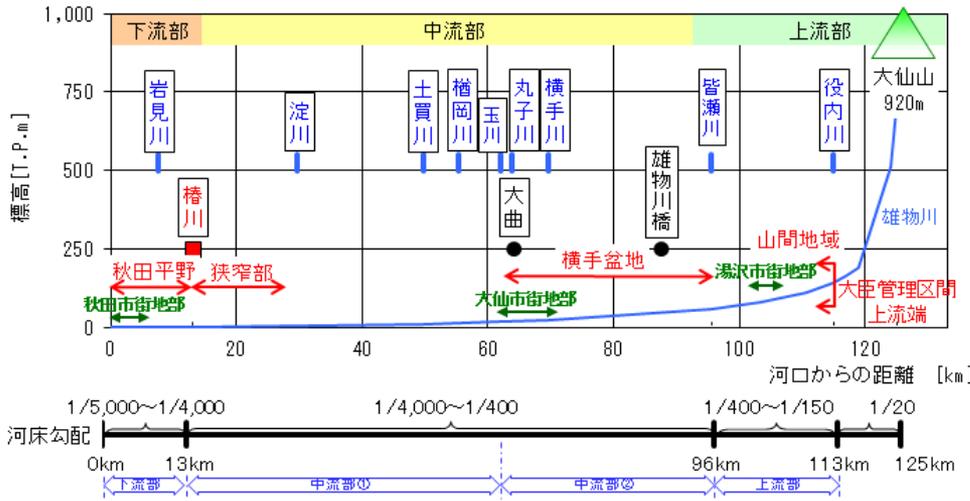


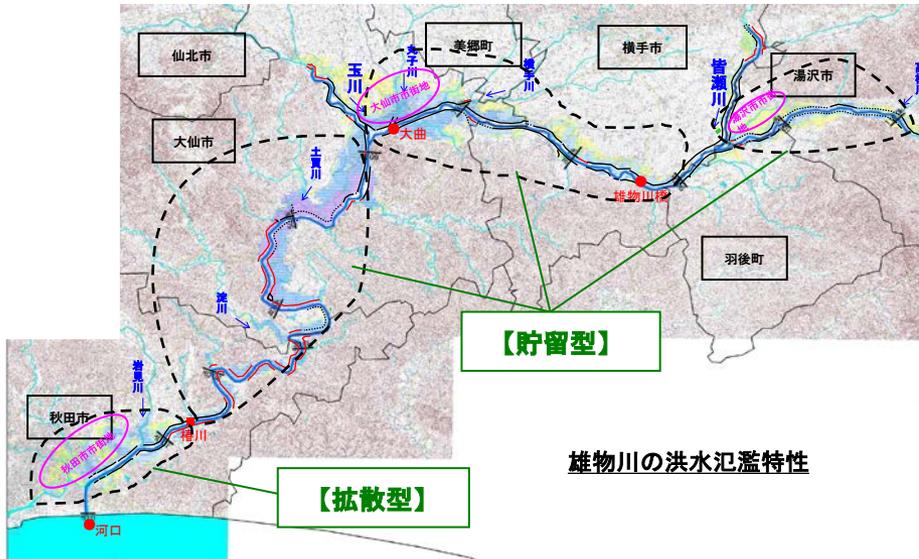
減災のための目標(案)について

雄物川の洪水特性

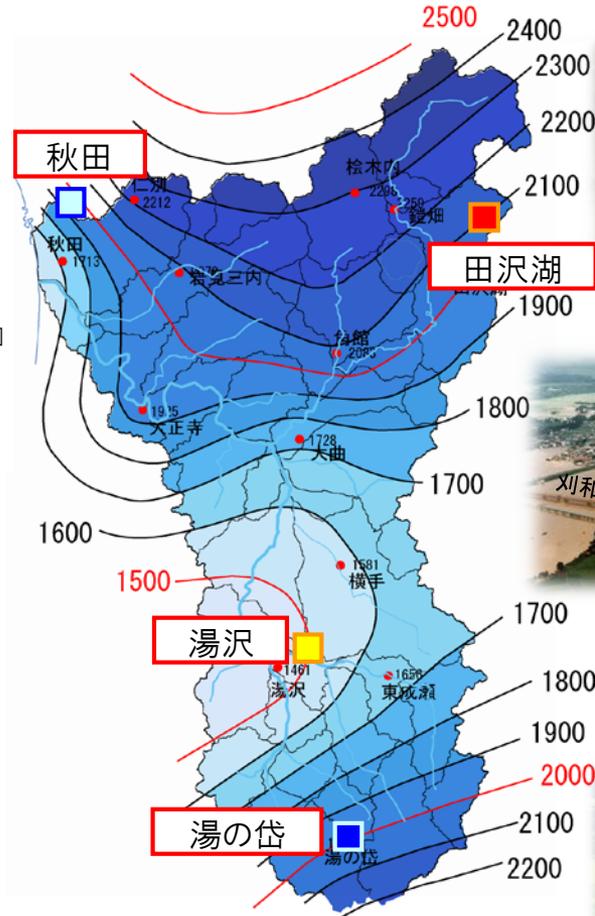
- 雄物川流域の降雨は低気圧を伴った前線によるものが多いため、降雨によっては継続時間が長く一旦氾濫すると**浸水時間が長い**。
- 雄物川の洪水は各支川流域の降雨が支配的な場合があり、各支川合流により**急激な水位上昇が発生する**。
- 洪水氾濫特性は上下流で異なり、**下流部が「拡散型」、中流部・上流部は山付けや支川堤防によって閉鎖された「貯留型」となっている**。



雄物川本川 河床高縦断面図



雄物川の洪水氾濫特性



雄物川流域 年間平均総降水量分布図

気象庁HP 気象統計情報
過去の気象データより作成



昭和47年7月洪水写真
(大仙市花館地区)



昭和62年8月洪水写真
(刈和野橋地点)



平成19年9月洪水写真
(福部羅橋地点)

減災のための目標(案)

■5年間で達成すべき目標(案)

雄物川は、これまで幾度となく水害が発生し、その降雨特性や地形特性により一旦氾濫すると浸水が長期化する。また、洪水特性の異なる支川が交互に合流し、降雨によっては急激な水位上昇が生ずるため、迅速な防災行動が求められる河川であることから、今後、発生しうる大規模水害に対し『動かす・ねばる・戻す』ことにより、氾濫被害の最小化を目指す。

動かす…「避難しなくても大丈夫」という行政・住民の気持ちを動かし、住民を避難へと動かす

ねばる…浸水域から遠く離れた避難場所まで逃げる時間を稼ぐ水防活動で、ねばる

戻す…地域社会を一日でも早く元の状態に戻す

■ 目標達成に向けた3本柱の取組

雄物川において再度災害防止を目的として河川管理者が実施する堤防整備等の洪水を河川内で安全に流す対策(ハード対策)に加え、以下の取組(住民目線のソフト対策)を実施。

1. 逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導

(1) 平時からのリスク情報の周知や防災教育・訓練等に関する事項

- ① タイムラインを活用したロールプレイング等のリアリティのある防災訓練
- ② 水害リスクを共有するための教育機関等と連携した防災教育
- ③ 想定最大外力を対象とした浸水想定区域図及び氾濫シミュレーションの公表

(2) 発災時の迅速かつ確実な避難に関する事項

- ① 各市町の避難勧告と連動したタイムラインの運用
- ② 急激で同時多発的な水位上昇等のリアルタイムな情報共有
- ③ 夜間等の越水・溢水を監視する簡易水位計等の整備

2. 氾濫被害の防止や軽減、避難時間の確保のための水防活動の強化

- ① 水防団等の重要水防箇所の合同点検
- ② 水防活動を支援するための簡易水位計等の設置と水防資機材等の整備
- ③ 関係機関が連携した実働的な水防訓練の実施

3. 日常生活及び社会経済活動の一刻も早い回復を可能とする排水活動

- ① 大規模水害を想定した排水計画の策定
- ② 関係機関と連携したリアリティのある水防・排水訓練

今後、各自治体との調整により追加修正有り

危機管理のための取組事例

沿川市町の防災担当者の参加によるロールプレイング型危機管理演習

大規模災害を想定した 洪水対応演習

- 実施日 : 平成27年11月27日
- 実施場所 : 演習部（国交省） 湯沢河川国道事務所新庁舎2F 災害対策室
演習部（横手市） 横手市役所北庁舎3F 災害対策室
全体指揮部 湯沢河川国道事務所新庁舎3F 第二会議室
- 演習参加機関 : 秋田県、横手市、大仙市、湯沢市、羽後町、東北地方整備局



横手市での演習状況



事務所での演習状況

迅速な情報発信のための取組事例

・個別の防災情報を一元的に集約できる防災情報ポータルサイトの構築

現 状

個別に整備してきた情報は、緊急時に別々のメディアから別々の情報として抽出した上で、各々を照らし合わせて見る必要がある。

危険箇所

水位観測データ

ホットライン

何かいい情報の集約方法はないかな・・・

CCTV画像

浸水想定区域図

気象データ

タイムライン

流量観測データ

改善イメージ

河川管理者が持つ情報を地図上に集約。流域の状況が一目でわかる意志決定支援に資する情報を提供。

危険箇所

浸水想定区域図

気象データ



CCTV画像

水位・流量観測データ

タイムライン

ホットライン

etc...

水防活動の強化の取組事例

・地元首長との重要水防箇所、水害リスクが高い箇所の共同点検

共同点検の実施状況

秋田市：平成27年11月4日

横手市：平成27年11月11日

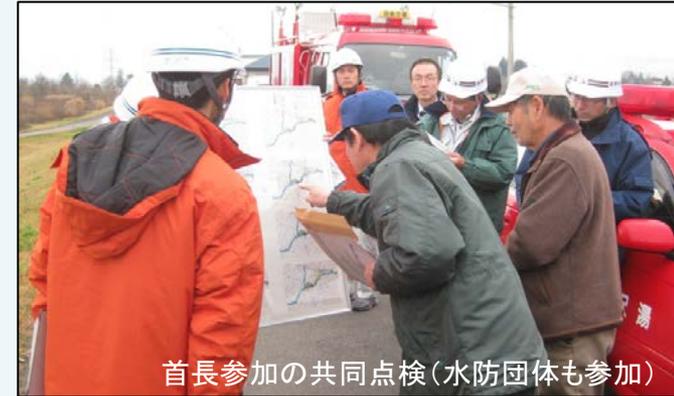
湯沢市：平成27年11月18日

大仙市：平成27年11月24日

羽後町：平成27年11月30日



首長参加の共同点検



首長参加の共同点検(水防団体も参加)

記者発表資料

平成27年11月9日
湯沢河川国道事務所

雄物川上流における「避難を促す緊急行動」の取り組み

～ 関東・東北の水害を受けて地元首長等との
トップセミナー・共同点検を実施 ～

近年、雨の降り方が局地化、集中化しており、雄物川でも鬼怒川や渋井川と同様の豪雨災害がいつ発生してもおかしくない状況にあります。
このため、湯沢河川国道事務所では、横手市を皮切りに「避難を促す緊急行動[※]」の一環として、洪水予報やホットラインなど、出水時に河川管理者から提供される情報とその対応について、地元首長等と確認を行うトップセミナーを実施します。
また、洪水に対してリスクが高い区間を現地にて確認し、認識を共有するとともに、万が一堤防が決壊した場合等に想定される浸水区域や住民の避難に結びつく情報提供等を行うため地元首長等、水防団、地方公共団体、自治会と共同点検を実施します。

※「避難を促す緊急行動」とは、平成27年9月関東・東北豪雨を受けて住民の方々の不安や懸念に応えるために緊急的に実施する行動として、国土交通省が提起したもの。

【報道発表資料】 http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo03_hh_000893.html

・夜間等の越水・溢水を監視する 簡易水位計



簡易水位計設置例

排水活動の取組事例

・被害を最小に押さえ、一刻も早い回復に向けた排水作業

■平成23年6月24日 出水時の排水対応



排水ポンプ車による排水状況（大仙市浜町地内）



大仙市の仮設ポンプによる排水作業状況（大仙市大曲福見町地内）



排水ポンプ車による排水状況（大仙市浜町地内）



福部内川遊水池での排水作業状況（大仙市大曲須和町地内）

避難行動のための取組事例

・平時からのリスク情報の周知や防災教育等の実施



H27年2月 要配慮者利用施設を対象とした避難計画に関する説明会



まるとまちごとハザードマップの設置状況
(市の避難場所の案内と併設)



H27年9月 住民参加の市の総合防災訓練



H27年7月
水防月間に合わせて、市役所の玄関に想定浸水深を表示

雄物川 大規模氾濫時の減災対策協議会 スケジュール(案)

